

ESD / 開発教育ファシリテーション講座

－私が変わる、未来をつくる－

進む気候変動、止まない戦争・紛争と核開発、植民地主義的な資源の収奪、住む場所を奪われる避難民、大量生産・大量廃棄、フードロス・・・

SDGsをはじめとし、「持続可能性」という言葉があちらこちらで言われるようになりましたが、その背景には、私たちの暮らす地球社会が持続可能ではないという危機感があるからです。

これらの問題は全て人間が安全や利便性を追求する開発行為の結果であることを忘れてはなりません。開発は本来、人間が豊かに暮らすためにされる行為のものですが、残念ながら一部の富を享受できる人たちが、そうでない人たちと地球資源を踏み荒らす収奪的な開発もしくは過剰開発が進められて今に至ります。

持続可能性や地球社会の未来を考える学習には、開発問題の学習が欠かせません。そして、開発問題の学習には、**様々な意見や考えを奇譚なく出し合い、予定調和にならない議論**が重要です。ファシリテーターという言葉も流布し、様々な場面で利用されてきていますが、教育の、そして開発教育／ESDのファシリテーションに不可欠な要素があります。

この講座では、そうした不可欠な要素を共に学び、「共通したスキル」からではなく、**皆さんそれぞれの個性を発揮してできるよう、お手伝いをしたい**と考えています。

自分と向き合い、自身の持つ価値観を問い直す姿勢を大切にしながら、皆さんなりの開発教育のファシリテーションを形作っていただきたいと思います。ぜひこの機会に、私たちと一緒に学んでみませんか？今回は待望の対面での実施です。

こんな方におすすめ

「参加型学習のファシリテーションを深めたい」

「学習者の学びや議論を深められるような『問い』を投げかけたい」

「学習者の話を引き出せるような『聴く力』を身につけたい」

「学習者の大事な動きや語りを『見過ごさない・やり過ごさない』ようにしたい」

「自分のファシリテーションをじっくり振り返ってみたい」

「もっと自信を持って開発教育／ESDのファシリテーションをしたい」

・・・こう感じている皆さんにおすすめです！